

**製品名: リン酸化 PSD95 (Ser418) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe87124**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000
分子量	Calculated MW:81 kDa; Observed MW:95 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	Phospho-PSD95 (Ser418)
別名	PSD95; SAP90; SAP-90
遺伝子 ID	1742
SwissProt ID	P78352
免疫原	ヒト PSD95 の Ser418 周囲の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

**背景**

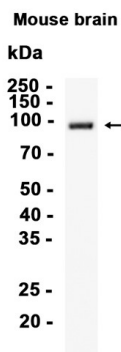
この遺伝子は膜結合型グアニル酸キナーゼ（MAGUK）ファミリーのメンバーをコードする。別の MAGUK タンパク質である DLG2

とヘテロ多量体を形成し、NMDA 受容体およびカリウムチャネルのクラスターにリクルートされる。これら 2つの MAGUK タンパク質はシナプス後部で相互作用し、受容体、イオンチャネル、および関連するシグナル伝達タンパク質のクラスター形成のための多量体骨格を形成すると考えられる。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見出されている。  
[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

## 研究分野

-

## 画像データ



1:1000 の Phospho-PSD95 (Ser418) ウサギモノクローナル抗体を使用したマウス脳組織抽出物のウェスタンブロット分析。